

地域パワーを活かした健康都市をめざして
~市民と協働した健康生活応援誌作成~

松戸市健康福祉本部保健福祉課
総保健師長 大光房枝



1

市民との協働~地域パワーを活かす~

保健師活動をとおして考える協働

- ForからWithへの発想の転換
- それぞれの専門性を活かす
- 市民は生活者としての専門性を持っている
- 協働において参加者は対等な立場
- 市民が力を発揮できるしくみづくりには
マネジメント機能が重要



2

健康生活応援誌作成-1

- 📌 きっかけ:平成14年8月「健康まつど21」計画策定
- 📌 目的:多くの市民が楽しんで運動する習慣を身につけられる環境を整える
- 📌 方法;「運動しやすい環境をともに作る検討会」を発足し、検討会メンバー(公募ボランティア15名)と市保健福祉課(事務局)が協働し作成
- 📌 検討会:月1~2回(平成17年12月~平成18年5月)



3

広報まつど掲載文

運動しやすい環境を共に創りましょう

ボランティア大募集

松戸市では、少しでも多くの市民が、「楽しんで運動する習慣を身に付けられる環境」を整えたいと考えています。

ボランティアの条件

ウォーキングマップを一緒に創り、地域に広めようと思う人で、月に1~2回検討、約6ヶ月間会合に参加できる人



4

健康生活応援誌作成-2

検討会の進め方

- 📌 運動しやすい環境作りについて意見交換を行う
- 📌 ウォーキングマップについて提案し、検討を重ね作成する
- 📌 作成したウォーキングマップを地域住民に広げること、住民が運動する習慣を身につけやすくする



5

健康生活応援誌作成-3

実際の活動

- 📌 11月:第1回検討会(趣旨確認・今後の進め方)
- 📌 12月:ウォーキングマップは既にあるので運動を中心とした健康づくりの情報誌作成に変更
- 📌 1月~3月:情報収集活動
- 📌 4月~5月:編集
- 📌 6月:印刷・製本
- 📌 7月:検討会から、松戸市長へ贈呈



6